

北側デッキの代替デッキの設計図について

1. 地域関係者の意見を踏まえた変更点について

○ デッキを全体的に南側に 2 m 程度移動

→ 提供図面のとおり。

○ 代替デッキから南側デッキへの接続部分を変更

→ 提供図面のとおり。

○ 代替デッキへの入口を既存登山道の進行方向から入れるよう変更

→ 提案図面のとおり

○ 標識は、縄文杉の見やすい場所で、代替デッキ出口展望スペースの占有を最小限にするよう設置

→ 提供図面上は、代替デッキの南端になっていないが、南端に設置するよう検討。

○ 標識には、基礎情報に加えて、縄文杉を見て感じて欲しいことも追記

→ 提供図面は案段階。標識内容の詳細については検討中だが、上記内容を盛り込むよう検討。

2. 地域関係者の意見を反映することが難しい点について

○ 縄文杉の幹のデザインをデッキ上に施す

→ 代替デッキ上に縄文杉の幹を表現すると、デッキに収まらないうえ、足元の線が何を意味するのかがわかりにくいことが懸念される。

→ 代替として、利用者が縄文杉の大きさを実感できるように、標識に、縄文杉とデッキや利用者
の大きさを比べられるデザインを採用する。

○ 代替デッキの高さを地面から 5 m にする

→ デッキ部分の高さを地面から 5 m にすると、デッキに接続する木道が、高くて急な階段にならざるを得ないなど、構造的に危険と判断。

→ 現地検討の結果を踏まて 1.5m 程度とする。

○ 代替デッキの模型か CG を作成する

→ 施工期限に間に合わないため対応が困難。